

アメリカ医師会における
政策の形成・推進能力と
Executive Vice President
(執行副会長)の役割に関する研究

平成 9 年 6 月

日本医師会総合政策研究機構
(日医総研)

総目次

第一部：アメリカ医師会（AMA）における政策の形成・推進能力に関する研究

I. 概要	1
1. 研究の目的、対象、方法	1
2. 調査結果の要約とその考察	1
(1) AMAによる政策分析活動	2
(2) 日本医師会への教訓と提案	3
II. 調査結果	4
1. アメリカ医師会（AMA）	4
(1) AMAの組織目的	4
(2) 会員と組織運営	5
① 会員とその中の利益集団	5
② 組織運営を支える機関	6
③ 代議員大会、理事会、及び Executive Vice President の関係	7
2. 政策形成の過程	8
(1) AMAの喫煙に関する政策—背景	9
(2) 煙草論議におけるAMAの組織運営機関の役割	9
① 代議員大会諮問委員会	9
② 理事会への審理依託	10
③ 審議会とその下部組織としての小委員会の役割	11
(3) AMAの政策形成過程における問題	12
(4) AMAスタッフの果たす役割	12
3. 政策分析を担う部署—保健医療研究センター	13
(1) 研究センターの分析能力	13
① 組織とスタッフ	13
② 予算	14
(2) 研究センターによる政策分析の性格	14
(3) 研究センターによる政策分析の成果と利用者	16
(4) AMAにおける研究センターの位置づけ	16

4. 政策推進（アドボカシー）活動	18
(1) キャンペーン「煙草との戦い」の例	19
(2) 新しいコミュニケーションの手段—AMA ホームページ	20
① 内容	20
② 利用者	21
③ ホームページ上の広告	22
④ ホームページの開設と維持	22
⑤ ホームページを開設することの意義	22

図 表

表 1 保健医療研究センターが提供する情報の形態とその利用者	23
図 1 AMA スタッフ組織図	24
図 2 政策形成・推進の過程	25
図 3 保健医療政策グループ組織図（案）	26
図 4 コミュニケーショングループ組織図	27

添付資料

資料 1 AMA の喫煙政策に関する主な出来事一覧	28
資料 2 AMA 代議員大会諮問委員会の一覧	30
資料 3 AMA 各種審議会の一覧	30
資料 4 (イ) 1996 年代議員大会決議案第 103 号	31
「メディケア生命保険による末期医療に係わる医療費負担について」	
資料 4 (ロ) 医療サービス審議会会合議題案	32
資料 4 (ハ) 医療サービス審議会報告書	34
「マネージドケアに基づく医療現場における経済的インセンティブについて」	
資料 5 (イ) 保健医療研究センター出版物一覧	42
資料 5 (ロ) 保健医療研究センター「ディスカッションペーパー」シリーズ一覧	44
資料 5 (ハ) 保健医療研究センター出版物見本（略）	
資料 6 (イ) 「煙草との戦い」1996 年記者会見、報道関係者用パッケージ（略）	
資料 6 (ロ) 反煙草キャンペーン 1995 年記者会見、報道関係者用パッケージ（略）	
資料 7 AMA ホームページ（見本用プリントアウト）（略）	

第二部：アメリカ医師会における Executive Vice President の役割 に関する研究

I. はじめに	47
1. 調査の目的	47
2. 調査の対象	47
3. 調査の方法	48
4. 調査報告書の構成	48
II. EVP の役割	49
1. EVP 設置の経緯	49
(1) EVP 設置以前の AMA (～1958 年)	49
(2) EVP の設置 (1958 年)	49
(3) 初期の EVP (1958～1974 年)	51
2. 規定された EVP の役割	51
(1) EVP の資格要件	51
(2) EVP の役割	51
III. EVP の実際：過去 3 代の EVP	53
1. サモンズ氏 (James H. Sammons, 任期：1974～1990 年)	53
(1) 個人の経歴	53
(2) EVP に選ばれた経緯	53
(3) EVP としての功績	54
① AMA の財政建て直し	54
② AMA の影響力拡大	54
(4) EVP 時代の活動の特徴	54
(5) まとめ	55
2. トッド氏 (James S. Todd, 任期：1990～1996 年)	55
(1) 個人の経歴	55
(2) EVP に選ばれた経緯	55

(3) EVPとしての功績	56
① 活動を少数に絞り、それらをより良くこなすという目標	56
② 医師の倫理性に関わる政策	56
③ 公衆衛生分野における AMA の積極性	56
(4) EVP時代の活動の特徴	56
(5) まとめ	57
3. スワード氏 (P. John Seward, 任期: 1996~1997年)	58
(1) 個人の経歴	58
(2) EVPに選ばれた経緯	58
(3) EVPとしての功績	58
① AMA 倫理研究所 (AMA Ethics Institute)	58
② 全国患者のための安全性財団 (The National Patient Safety Foundation)	59
③ 米国医療認定計画 (The American Medical Accreditation Program)	59
(4) EVP時代の活動の特徴	59
(5) まとめ	60
4. EVPの役割の変遷 (1974~1997年)	60
5. アメリカ医師会における EVP	61
(1) EVP候補者の選考	61
(2) EVPの業務	61
(3) EVPと理事会	62
IV. 結論: 日本医師会への示唆・提言	65
1. EVP設置の利点	65
(1) 医師会の活動の連続性・継続性	65
(2) 職員の専門性・優秀性の維持	65
(3) 厚生省へのより適切な対応	65
(4) 医師会の社会的役割	65
2. EVP設置における課題	66
(1) EVPと理事会、および会長との間の摩擦	66
(2) EVPとスタッフとの関係	66
(3) EVP選出の過程における軋轢	66
(4) EVPの高待遇	66

3. EVP 設置の際の留意点	67
(1) EVP 設置理由の明確化	67
(2) 実務的な役職としての EVP	67
(3) EVP と他の役職との関連の明確化	68
(4) EVP を支えるスタッフの重要性	68
4. 日本医師会における EVP の設置：まとめ	69

図 表

図 1 AMA スタッフ組織図 (1957 年)	71
図 2 AMA スタッフ組織図 (1978 年)	72
図 3 AMA スタッフ組織図 (1981 年)	73
図 4 AMA スタッフ組織図 (1997 年)	74
表 1 理事会およびスタッフ：利点と限界 (資料 1 より一部翻訳)	75
表 2 理事会およびスタッフ：一般的機能の分類 (資料 1 より一部翻訳)	76

添付資料

資料 1 AMA における理事会スタッフの役割	77
-------------------------------	----

参考文献一覧	85
--------------	----